

推進目標 4 生涯を通じた健康の維持・向上

◆現状と課題

生涯にわたって健康に過ごすことは、個性と能力を発揮して暮らしていくために大切なことです。

特に、女性は妊娠や出産等、各年代において男性とは異なる健康上の問題に直面する可能性があることから、男女が互いの身体的特徴を十分理解し、認識を深めていくとともに、心身の健康を保持、増進できるような体制を整備することが必要です。

里庄町においては、健康診査や各種がん検診、健康相談等ライフステージに応じた健康づくり事業を展開しています。

男女がともに健康を保ち、生涯にわたって心身ともにいきいきと暮らせるよう、引き続き町民に対し健康づくりを支援する取り組みを進める必要があります。

◆施策

(ア) 心身の健康と性の権利における意識啓発

男女がともに、身体的な性差を十分に理解し、相手に対して人権を尊重しつつ、思いやりをもって生きていくことが重要です。そのため、家庭、学校、社会等のあらゆる場面で、性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）の意識啓発を図ります。

番号	施策名	事業内容	担当課
1	性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）の推進	広報紙やホームページ等の媒体を通じて、性と生殖に関する健康と権利についての情報提供を行います。	企画商工課 健康福祉課 教育委員会
2	感染症予防の普及・啓発	広報紙やホームページ等の媒体を通じて、HIV等の感染症についての情報提供と感染予防の啓発を行います。	健康福祉課 教育委員会

(イ) 健康づくり事業の実施

保健・福祉施策の充実を図るとともに、あらゆるライフステージに応じた町民の健康支援に努めます。

番号	施策名	事業内容	担当課
1	安心して安全に出産ができる環境の整備	出産・育児に関する正しい知識の普及や健康診査、相談の利用促進を図ります。また、妊婦の不安感等を解消するため、相談や訪問指導を充実させます。さらに、親子学級の実施等により男性の育児参加を支援します。	健康福祉課
2	出産に伴う経済的負担の軽減	各種検査における経済的負担を軽減するため、母子健康手帳交付時に妊婦一般健康診査 14 回分、超音波検査券 4 回分、血液検査券 2 回分、クラミジア検査券 1 枚、GBS 検査券 1 枚を交付する制度の維持に努めます。	健康福祉課
3	不妊に対する支援の実施	不妊で悩む夫婦の支援として、県や町が実施している不妊の相談や不妊治療費助成事業の周知を図ります。	健康福祉課
4	各種健（検）診の充実と予防事業の実施	生活習慣予防のための健診・保健指導の受診を積極的に勧奨し、併せて各種がん検診等の体制を維持します。 また、講演会および健康教育等の疾病を予防する事業を継続実施し、町民の健康に対する意識の高揚に努めます。	健康福祉課
5	スポーツ・レクリエーション活動の振興	男女がともに気軽に楽しくスポーツやレクリエーション活動を行うことのできる環境を整備し、生涯スポーツの普及・振興を図ります。	教育委員会

